

和合

No.130

2019.9.1

題字 三浦修次

主な掲載記事

和合探訪	2
はやぐおっきぐなれの～！	3
よつぱっこ通信	4
わたしが描く和合の里	5
わたしから見た和合の里	5
畑にこんにちは	6
季節の郷土料理	6
人生100年時代	7
わごう駐在所	7
和合の里INFORMATION	8

和合探訪

和合のルーツ
ここにあり！

福島編

◆参考資料

『余目町史』 余目町 発行

『十六合史』

十六合地区総合振興協議会 発行

『庄内町の文化財』

庄内町教育委員会 発刊

村のはじまり

町史によると、元和6年（1620年）、浪士の長堀全長が開発したと伝えられています。村名の由来は、1つの沼の中に東西2つの島があったことから福島村と名付けられました。また、東の島に天照皇大神を、西の島には観世音菩薩を祭ったという伝えがありますが、現在はその沼や島の面影は見当たりません。

◆村高

寛文9年（1669年）に行われた検地によると、福島村には、田畑合わせて31町5反3畝8歩あり、お米の収量は424石8斗5合（およそ63,720Kg）だったようです。

一人当たりの耕地面積は1町7反4畝でしたが、なかには5町8反も開拓していた村民もいました。

皇大神社

福島の皇大神社は、町史によれば元和年間の創建と伝えられています。まず観音堂を設け、更に同境内に神明宮をあわせて祭り村の守護神としていました。

その後、明治初期に政府による神仏分離の政策によって仏教が排斥されると、福島では明治6年4月に観世音を末社とし、新たに天照皇大神を祭神とする皇大神社を設け、現在に至ります。

また、境内に立つ石鳥居は、大正8年4月福島創立300年記念の際に、北海道上川郡神居村（現在は旭川市）に移住した方々から奉納されたものです。



繪馬“地租改正実測図”

明治元年（1868年）、江戸幕府が滅び明治政府が成立しました。以後、政府は版籍（土地と人民）奉還、廃藩置県、神仏分離、四民平等、戸籍法改正、徴兵令および地租改正など、数々の改革を行いました。

そのうちのひとつである地租改正は、政府が政治を行っていくうえで、最も大きな財源となる地租（年貢）の取り方を全国的に統一することが目的でした。

江戸時代は幕府や各藩で、年貢の取り方がまちまちで、ある藩では四公六民、その隣の藩では五公五民、ひどいところでは、ひとつの村がふたつの藩に分けられて年貢高が違うこともありました。また、豊凶や相場変動に作用され不安定な米納地租から、税収を安定させる金納地租に改正する必要もありました。そのため、明治6年（1873年）に、地租改正条例を交付して、太閤検地以来の全国的な土地測量を実施し、地主から100分の3にあたる地租を現金で納めることとしました。

この絵馬は、その土地測量の様子を描いたもので、山形県内では最古のものと言われています。作者は測量人、国井直記（鳳仙）で、竿を持ち、みの、笠をつけた測量人8名が田のあぜに立ち、そばに検査人、長堀彌平治、三浦春澄と思われる2名が床几に腰掛けています。木版に描かれており、「明治8年」の年紀があります。

（※昭和62年11月25日に町の文化財に指定）

パパとママにインタビュー

はやぐおっきぐなれの～!

① 優しい子に育ってほしいという願いを込めて。あと響きです。

② お兄ちゃんと猫をハイハイで追いかけること。「いないいないばあ」の音楽が聞こえるとニコニコはずんでいます。

③ 全然離乳食が進まず困っていましたが、突然パクパク食べてくれるようになりました。今では大きな口をあけて食べるようになり、作りがいがあります。



④ 目を離したすきに、引き出しをあけて中身を全部出していた。

⑤ 毎日ニコニコ笑顔にいやされています。お兄ちゃんには優しくしてね。



丸山 ^{まな}真愛ちゃん

(前田野目)

平成 30 年 8 月 17 日生まれ

パパ：洋志 ^{ひろし} ママ：望 ^{のぞみ}



高橋 ^{ゆいな}結菜ちゃん

(前田野目)

平成 30 年 9 月 23 日生まれ

パパ：かず ^ほ 一歩 ママ：晴香 ^{はるか}



① 人との出会いやつながりを大切にする子であってほしい。また、周囲の人から愛される、明るくかわいらしい人になってほしいと願いを込めて。

② テーブルやイスなど、上れるところがあるとすぐに上ろうとすること。カーテンに隠れて「いないいないばあ」をして遊ぶこと。

③ お父さんがつけているマスクを引っぱって、ケラケラと笑いながら何回も引っぱって遊んでいたこと。

④ お姉ちゃんのお下がりの服をとっておいたけれど、生まれた時期が違いすぎてほとんど着れずに終わってしまったこと。

⑤ お姉ちゃんと仲良く、元気で明るい子に育ってね。結菜の笑顔が大好きです。



Q1 名前の由来は？ Q2 今一番の興味やはまってることは？ Q3 最近記憶に残ったエピソードは？

Q4 パパママの失敗談（子育てあるある） Q5 パパママからのメッセージ



余目第四幼稚園

よつばっこ通信

なんと！8個も！
おめでとう！

🍀 かめのおかあさんが、卵を産みました!!



7月18日、9時20分…
なんと幼稚園のかめが卵を産みました！

30分位かけて、お母さんかめが8個卵を産む様子を、“がんばれーがんばれー”と静かにみんなで応援しました。

ぽとんと卵が出てくるたびに、“やったー”と拍手が起こり、ふーっと一息。近くにいるお父さんかめが、出産現場に近づくと「応援してるんじゃない？」と子ども達。

カメの出産場面に立ち会ったのは初めてのこと！3年前に産んだ時は、夜に産んだみたいでしたが、今年はみんなが見守る中、生まれてきてくれました！

その日の午後、「カメの赤ちゃん生まれたかな？」と早速わくわくして見ていた子もいました。元気な赤ちゃんカメが8匹産まれるといいなあ。(50日～60日くらいで産まれるそうです。)

ぜひ、幼稚園に見に来てください！



▲羽化したばかりのセミの羽が、エメラルドグリーンでとてもきれいでした。

🍀 せんせいあのね

◆給食だよりを見ながら、会話をしていた時……

先生 「カルシウムって、知ってる？」

A ちゃん「ん～～聞いたことあるけど…？」

B くん「知ってる！大真木にあるよ！」

先生 「????？」

◆給食中……

給食を食べるのが、少し遅くなってしまうAちゃん。

先生 「Aちゃん、頑張ってるね。今日食べるの早いね！」

B ちゃん「きげんいいからじゃない??」

わたしが描く和合の里

和合の里は、みんな笑顔でやさしいし元気なので、もっと良い和合の里を目指したいです。和合の里は伝統があるので、伝統をくずさず、平和の和合の里をつくっていきたいです。10年後20年後も和合の伝統をくずさず、和合の里をいつまでも守ってほしいです。未来に和合の里を残せるようにがんばりたいです。



【吉方】
齋藤 碧海
あおい

【沢新田】
齋藤 大馳
だいち



ぼくは、この和合の里のことをすごく住みやすい所だと思っています。他の所と比べて、車通りが少なく静かで、登下校もすごく安全です。それに、秋は田んぼが一面まっ黄色になってすごくきれいです。ぼくは、こんな和合の里がこれからも続いてほしいです。

私は、自然豊かな和合の里になってほしいです。自然豊かな和合の里になると、町もきれいになると思うし、環境もよごれないできれいになると思うからです。多くの人と協力し、きれいな町と環境をつくっていきたいです。ボランティアにも参加したいです。これからも自然豊かな和合の里にしていきたいです。



【前田野目】
鈴木 萌華
ももか

【連枝】
小林 ひなた



私は、みんなが笑顔で楽しく勉強したり、遊べる和合の里にしたいです。和合の里はきれいで自然豊かな地域です。私は、このきれいな和合の里を残すためにボランティア活動がんばりたいです。これからも明るくて自然豊かな和合の里にしていきたいです。

和合の里は、みんな笑顔で自然豊かなので、ぼくももっと笑顔を増やしたいです。いろいろな人が、いろいろな所から来るので、その人たちにも笑顔になってほしいし、自然の豊かさを広めて、自分たちが中学生や高校生になっても、自然あふれて笑顔あふれる和合の里であってほしいです。そのために、ぼくもがんばって和合の里を守りたいです。



【廻館】
太田 優真
ゆうま

わたしから見た和合の里

「和合の里」の皆さまこんにちは。大好きな第四小学校の皆さんとお別れして、早いもので4ヶ月が経ちました。私の業務員としてのスタートが四小で平成8年から6年間、2回目の勤務が、この春までの5年間で、母校同様に愛着と思い入れのある学校です。

11年間の勤務を通して、毎日元気でさわやかなあいさつができて、私に寄ってきては、その日その日のできごとを話してくれ、子ども達と触れ合うことで、毎日が楽しく、3月末の異動は離れがたい思いでいっぱいでした。

四小の子ども達がいとも明るく元気で伸び伸びしているのは、保護者の方々が学校行事への参加率が良いことや、地域の方々からの日々温かい声かけ、学習発表会への見学、町民運動会での結束力の高さ等の表れなのではないかと思われます。

現在私は、立川中学校への通勤で四小学区を通りますが、車からではなかなか子ども達とお会いすることができず、運よく出会えた時は、今日はラッキーと思っています。

今の楽しみは、

四小、余中の学校
だよりや新聞等で、
卒業生のスポーツ
や文化面で活躍さ
れた記事を見ては、
懐かしく嬉しく思
い出しています。

前庄内町立余目第四小学校業務員



足達 秀行

畑にこんにちは！

秋庭 勝雄さん(南野)

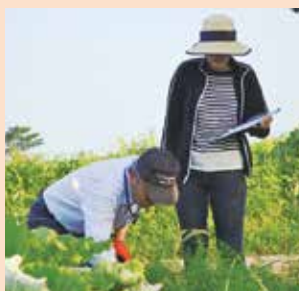
連日 30 度を越す暑い日が続いた 8 月上旬、取材の足をカートソレイユの方まで伸ばすと、早朝にも関わらず多くの人が畑で作業をしていました。

その中で、今回お邪魔したのは、ちょうどソバ（でわかおり）の種まきをしていた秋庭勝雄さんの畑です。朝早いですねと声をかけると、夏は暑いので朝 5 時半ごろから 1 時間くらい畑仕事をするんだとこたえてくださいました。

秋庭さんは、大豆を蒔く機械に自分で細工をしてソバの種を蒔けるようにしているそうです。例年であれば種を蒔いてから 3 日ほどで芽が出るとのことですが、雨がほとんど降らず乾燥している状況なので、どうなるかなと心配していました。

また、秋庭さんの畑には、珍しいものではプルーンの木がありました。プルーンは夏が収穫時期で、取材時は立派な果実がなっていました。どうやって食べるのか尋ねると、秋庭さんのお宅では砂糖で煮て食べているそうです。

そのほかにも、長いも、からどり、ごぼう、落花生、ねぎ、小豆などが所狭しと植えられていました。最上



川沿いにある畑は、砂地で水はけが良いそうで、長いもやごぼうなどの根菜類には適しているとのことでした。

今後は、既に収穫を終えたじゃがいものスペースに白菜やキャベツなどをお盆が過ぎたら植えるとおっしゃっていました。

季節の郷土料理



ぼたもち

◆材 料

- ① { もち米 …………… 5 合
うるち米 …………… 1 合
小豆 …………… 適量
砂糖 …………… 煮た小豆の 55～60%
塩 …………… 砂糖の 0.5%

◆下準備

- 1 小豆はきれいに洗い、たっぷりの水に一晩浸す。
- 2 ①を洗米し半日ほど水に浸し、水気を切る。

◆作り方

- 1 小豆を中火にかけ、煮立ったら 1 度水を捨て、再び水を加えて煮る。
小豆が柔らかくなるまで 2～3 度差し水をしながら煮る。
- 2 ①を炊飯器で炊き（水加減は米の 1 割減）、蒸らしておく。
- 3 2 をボールに移し、すりこぎで米の粒が残る程度につぶす。
- 4 手を水で湿らせ 3 を好みの大きさに丸める。
- 5 手にあんを 5mm 位の厚さに広げ、4 をあんで包む。

◆ワンポイント

※もち米とうるち米の配合割合を 2:1 にすると、翌日も美味しく食べることができる。

※うるち米の割合が多いと扱いやすく、丸めたあんをつぶしたもちで包み込み、ごま、ずんだ、きな粉などをまぶしたりもできる。

◆今回のレシピは押切のり子さん（廻館）からご協力いただきました。



人生100年時代

～支え合う地域づくり～

庄内町保健福祉課 高齢者支援係長 佐々木 悦子

庄内町の平成31年4月1日現在の高齢化率は36.1%で年々増加しています。学区別に見ると第四学区は約4割が高齢者となっています。

今後も64歳以下の若い人の数は減少し続け、高齢者を支える人が少なくなることが心配されます。

すでに介護施設では職員の人手不足が起きている所があります。

では、どうしたらよいのでしょうか。町では地域包括ケアシステムを推進しています。これは、「介護が必要になっても住み慣れた地域で、自立した自分らしい暮らしを続けることができるよう、医療、介護、予防、住まい、生活支援が包括的に確保される体制の実現」を推進するものです。

地域での生活を支えるためには、公的なサービスに限らず、ボランティアや民間企業、協同組合等の多様な事業主体による生活支援や、介護サービスの体制整備が必要です。

また、高齢になっても自分の家で、住み慣れた地域で暮らすことができるためには、地域で支え合うことが大切です。皆さん個人でも、高齢者の見守り、声かけ、ゴミ捨て等ちょっとした気づかいで協力できることがきっとあります。

ぜひ声を上げて実践をお願いします。

問合せ先

高齢者支援係(余目保健センター)

☎43-0490

災害に対する備えを 始めましょう！

わごう駐在所

庄内警察署
佐藤 正人
(第四学区担当)



災害が発生すると【停電・断水・ガスが出ない】など、ライフラインの停止が考えられます。

このような事態になると、人は【食料・飲料水の買い占め】や【ガソリンの給油】に走りますが、第四学区にはスーパーやコンビニが無いので、災害が発生してから買い物等に行っても、余目・狩川・旧藤島町いずれのスーパーまでは距離があり、着く頃には品切れ・行列が発生し、最悪何も買えないということも考えられます。

これを防ぐために【日頃からの食料品の備蓄】をしましょう。

停電になれば冷蔵庫は使えないので、冷蔵・冷凍のものは早期に消費しなくてははいけません。

備蓄する物は、長期保存水、乾麺、缶詰、インスタントラーメンやお湯等でふやかして食べる非常食を、少なくとも3日分は備えておきましょう。

また、これらの物にも消費期限はあるので、期限が来る前に食べて消費、また新たに買い直すことで、いつでも備蓄されている状態になります。

さらに、反射式ストーブ・カセットコンロがあれば、冬場は暖も取れ、簡単な調理や湯沸かしもできます。

さらに、今の世の中はスマートフォンがあれば情報も連絡も取れるので、電源の確保ということで【モバイルバッテリー】があると停電時も充電ができ非常に便利です。

備蓄の物は今すぐに必要となるわけではないので、災害から時間が経ってしまうと後回しになってしまいがちです。

ただ、万が一の時に困らないように、日頃の買い物から少しずつ【備蓄】を始めてみましょう。



第 四学区老人クラブ連絡協議会GG大会

7月7日(日)、第12回グラウンドゴルフ大会が開催され、各単位クラブから60名が参加し、熱戦を繰り広げました。

大会成績は以下のとおり。(敬称略)

【個人】

- 1位：澁谷良二(南 野) 37 打
- 2位：岩城廣實(南 野) 38 打
- 3位：佐藤智幸(小出新田) 39 打(ワンあり)
- 4位：佐藤喜良(南 野) 39 打(ワンなし)
- 5位：加藤重雄(南 野) 40 打
- 6位：池田正次(小出新田) 41 打

【団体】

- 1位：南 野 A チーム 196 打 3位：小出新田 A チーム 232 打 5位：南 野 B チーム 251 打
- 2位：前田野目 A チーム 227 打 4位：廻 館 A チーム 236 打 6位：ふたば会 A チーム 262 打

【ホールインワン賞】

澁谷良二(南野)、岩城廣實(南野)、佐藤智幸(小出新田)、池田正次(小出新田)、伊藤茂太(西袋)



花 の鉢をひとり暮らしのお年寄りにプレゼント



7月10日(水)、地域との交流を目的として第四小学校の5～6年生を中心に、学区内の一人暮らしのお年寄りを訪ね、児童たちが一生懸命に育てた花鉢とメッセージを贈りました。

松田美空ちゃん(5年/前田野目)は少し緊張しながらも、一人ひとりに「お花のプレゼントです。どうぞもらってください。

い。いつまでも健康で元気でいてください。」と声をかけ、お年寄りを花が咲いたような笑顔にさせていました。

亀ノ尾の里資料館 企画展



編集後記

平成年間で平均寿命が5歳延びる！

厚生労働省によると平成の30年で平均寿命が男女とも5歳延び、男性81歳、女性87歳になりました。一方で健康寿命は2016年の調査で、男性72歳、女性74歳となり、平均寿命との差が約10年あります。

この10年をどう過ごすのか。いつまでも健康に過ごすために、できることから始めましょう。

余目第四公民館
亀ノ尾の里資料館

9月10日(火)

全館床、窓清掃

